

令和5年度 部長政策宣言 達成状況報告

企 画 管 理 部 長

財 務 管 理 部 長

市 民 生 活 部 長

福 祉 保 健 部 長

産 業 経 済 部 長

都 市 整 備 部 長

上 下 水 道 部 長

会 計 管 理 者

教育委員会事務局長

消 防 長

市民病院事務局長

令和５年度 企画管理部長「政策宣言」達成状況

企画管理部長 小塚 悟

○ 令和５年度重要事業

事業名	第３次射水市総合計画の推進
目標	第３次射水市総合計画に掲げる主要施策を効率的・計画的に実施するため、各事業の年次計画となる前期実施計画（令和５年度～令和９年度）を策定します。また、市民アンケートによる施策の満足度等を調査し、施策の進捗管理に努めます。加えて、広く総合計画の周知を図るため、タウンミーティングの開催やアニメーション動画制作等に取り組みます。
年度末達成状況	前期実施計画（令和５年度～令和９年度）を策定し、市議会６月定例会で報告し公表しました。 総合計画の内容をお知らせする「市長のタウンミーティング」を７月に開催し、計画の内容をわかりやすく伝えるアニメーション動画を１０月１日から公開しました。 また、総合計画に掲げる施策に対する市民の皆様の満足度について調査する市民アンケートを３月に実施しました。
自己評価	令和５年度は第３次総合計画の初年度であり、実施計画に掲げた事業に着実に着手するとともに、計画の内容を広くお知らせする取組を進めることができました。 今後も市民アンケートの実施や実施計画に設定した数値目標（ＫＰＩ）の実績把握等により計画の進捗管理を行い、将来像「いろどり ひろがる ムズムズ射水」の実現に向け取り組んでまいります。

事業名	行財政改革の推進
目標	第３次射水市総合計画の実効性を高めるため、第５次行財政改革大綱及び集中改革プランを策定し、着実に行財政改革を進めます。
年度末達成状況	第５次行財政改革大綱及び集中改革プランについては、行財政改革推進会議の審議を経て、昨年９月に策定し、集中改革プランに掲げた個別の取組を進めています。
自己評価	集中改革プランに掲げた各種取組の進捗管理を行いながら、第５次大綱の基本理念である「社会変化に柔軟に対応する行財政運営」を実現すべく、今後も引き続き行財政改革を着実に推進してまいります。

事業名	定員適正化計画の策定
目標	高度化・多様化する市民ニーズへの対応やデジタル技術を活用した業務の効率化等に加え、定年年齢の段階的な引上げによる影響も見据えながら、新たな定員適正化計画を策定します。
年度末達成状況	令和6年度から令和10年度までを計画期間とする新たな計画を策定し、市議会3月定例会で報告し公表しました。 これまでの計画では、正規職員のみのも目標数を定めていましたが、会計年度任用職員についても目標職員数を決めました。
自己評価	本市の現状を分析しながら、中長期的な視点で計画を策定することができました。 本計画に掲げた、今後の定員管理に向けた具体的な取組目標を着実に進めながら定員の適正化に取り組んでまいります。

令和５年度 財務管理部長「政策宣言」達成状況

財務管理部長 北 辰巳

○ 令和５年度重要事業

事業名	税財源の確保及び健全で持続可能な財政運営
目 標	昨今の社会情勢が及ぼす市税への影響の把握に努めるとともに、引き続き、公平・公正な課税の実施に努め、税負担の公平性の確保と納税秩序の維持のため、多様な納付環境の整備と滞納整理の強化を推進し、市税等の収納率向上を図ります。 また、第３次射水市総合計画及び前期実施計画を踏まえ、中期の財政見通しを策定し、健全で持続可能な財政運営に努めます。
年 度 末 達 成 状 況	各公的機関が公表している景気動向調査の情報収集及び市内法人へのアンケート調査の実施により市税への影響の把握に努めるとともに、地方税法等の規定に基づき、課税資料の調査及び現地調査の実施、能登半島地震に伴う税の免除措置など、公平・公正な賦課徴収に努めました。 収納管理では、固定資産税、軽自動車税のＱＲコード決済に加え、新たに市県民税（普通徴収）及び国民健康保険税を追加するためのシステム整備を完了しました。 また、将来を見据えた財政運営のため、令和５年度中の予算では、令和４年度決算上剰余金を活用して繰上償還を行うとともに、令和６年度予算では、限られた財源の中、真に必要な施策に重点的に予算配分されるよう、事業の厳格な優先順位付けなどに取り組み、財政調整基金を活用しない予算編成としました。
自 己 評 価	ＱＲコード決済機能の拡大など、納付環境の拡充に努めました。引き続き、公正かつ適切な賦課徴収に努めていきます。 また、健全で持続可能な財政運営のため、第５次行財政改革大綱及び第５次集中改革プランに基づき、社会変化に柔軟に対応する行財政運営を着実に進めます。

事業名	防災・減災対策の推進
目 標	地域振興会などの地区の住民等により、地区の特性や想定される災害を踏まえ、平常時から防災活動体制を構築するなど、地域が主体で行う防災活動について定める「地区防災計画」の策定を推進するとともに、防災士の育成・養成に取り組むなど、地域の共助による地域防災力の向上及び災害時における迅速な対応の確保に努めます。
年 度 末 達 成 状 況	地区防災計画については、地域に出向いて講演を行ったり、県地区防災計画策定モデル事業事例発表会のサテライト会場を開設したりするなど、地域の計画策定への意欲の向上に取り組みました。 また、新規防災士の資格取得に向け、地域振興会と連携し支援に取り組み、新規防災士6名（うち女性3名）を養成しました。
自 己 評 価	地区防災計画策定に着手した地域に加え、複数の地域で計画策定を前向きに検討されています。引き続き、地区防災計画の策定促進や防災士の育成・養成に取り組めます。さらに、市外でも多くの被害が発生した能登半島地震を踏まえ、災害に強いまちづくりに向け、防災・減災対策のより一層の推進に努めます。

事業名	公共施設等マネジメントの推進
目 標	公共施設包括管理業務による施設の安全性向上や業務の効率化を図り、市民サービスの向上に努めます。 また、広く民間事業者との連携を深め、公民連携による公共施設等のマネジメントを推進します。
年 度 末 達 成 状 況	包括管理業務によって、施設の安全性・快適性の向上や、業務の効率化を図りました。 また、民間提案事業においては、照明LED化や節水器具設置による脱炭素化やコスト削減、学校体育館のスマートロックや市営駐車場のシェアカー導入による利便性向上などに結びました。
自 己 評 価	包括管理業務委託や民間提案事業などにより、民間事業者が持つノウハウやアイデアを公共施設マネジメントに活用する仕組みが機能してきており、今後ともさらなる取組の推進に努めます。

令和５年度 市民生活部長「政策宣言」達成状況

市民生活部長 長谷川 寛和

○ 令和５年度重要事業

事業名	多様な人材が活躍できる環境づくりと都市間交流の推進
目 標	性別や国籍に関わらず、だれもが個性や能力を発揮し自分らしく暮らすことのできるダイバーシティ社会を実現するため、引き続き、女性リーダーの育成やネットワークづくりを推進するほか、互いの文化や価値観の相互理解を深め、多文化共生の地域づくりに取り組みます。 また、台北市土林区をはじめとした友好・姉妹都市と、幅広い分野での交流促進を図ります。
年 度 末 達 成 状 況	働く女性のスキルアップのための「いみずキャリアステップ応援塾」や、新たに女性の地域活動への参加を後押しする「女性活躍推進セミナー」のほか、多様な価値観や違いを認め合う意識醸成を促すため「ダイバーシティシンポジウム」、「多文化共生まちづくり交流会」を開催しました。 また、姉妹都市である長野県千曲市、北海道釧路町との行き来が再開したほか、友好都市である台北市土林区に市長等が訪問し、令和６年度の友好提携５周年記念事業の開催や、今後の交流拡大に向けた意見交換を行いました。
自 己 評 価	引き続き、性別や国籍に関わらず、個性と能力を最大限に発揮し、地域の一員として、だれもが自分らしく暮らしていくことができるまちづくりに取り組んでまいります。

事業名	地球温暖化対策地方公共団体実行計画の策定
目 標	本市のカーボンニュートラル実現に向け、市民、事業者、行政が総合的かつ計画的に取り組む具体的な施策について検討し、本市の温室効果ガス排出量の削減に向けた計画を作成します。
年 度 末 達 成 状 況	市民や事業者を対象としたアンケート調査のほか、学識経験者、関係事業者及び市民の代表者等で構成する策定検討会を開催し、計画の基本方針、施策・取組、取組指標について広く意見を取り入れながら協議・検討を進め、本年３月の市議会定例会において「射水市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の素案について報告しました。
自 己 評 価	今後、パブリック・コメント等による市民の皆様のご意見を踏まえ、本年６月頃の策定に向けて引き続き作業を進めるとともに、２０５０年温室効果ガス排出量実質ゼロを目指し、計画に基づく施策を推進してまいります。

事業名	持続可能で利用しやすい公共交通の推進
目 標	射水市DXビジョンに掲げた、AIを活用したオンデマンドバスの導入に向けた実証運行に取り組んでまいります。 また、引き続き、高齢者等の近距離移動手段確保の取組に対し支援するとともに、越中大門駅のバリアフリー化に取り組むなど、持続可能で利用しやすい公共交通の推進に努めます。
年 度 末 達 成 状 況	AIオンデマンドバス「のるーと射水」の本市南東エリアでの本格運行を本年3月25日から開始しました。 また、高齢者等の近距離移動手段の確保に取り組む地域を支援する補助制度について、地域振興会に説明を行うなど、普及に努めました。越中大門駅のバリアフリー化については、実施主体であるあいの風とやま鉄道（株）と連携し、エレベーター設置に係る詳細設計を行っています。
自 己 評 価	出前講座や各種取組を通じ、地域公共交通の利便性向上に努めました。 今後は、「のるーと射水」の他エリアへの拡大や越中大門駅へのエレベーター設置に係る取組を進めるなど、引き続き、持続可能で利便性の高い地域公共交通の実現に努めます。

事業名	スマート窓口の推進
目 標	市役所窓口の受付時に届出・申請書類を一括して作成できる「窓口支援システム」（書かない窓口）を本庁舎に導入し、来庁者及び職員の負担の軽減、所要時間の短縮を図り、市民の利便性向上に努めます。
年 度 末 達 成 状 況	本年2月16日に運用を開始し、住民異動届をはじめ23種類の届出、申請書について、住所、氏名、生年月日等が印字された書類を自動作成しています。
自 己 評 価	来庁者からの満足度も高く、また、時間のかかる転入手続などにおいて所要時間が短縮されるなど、システム導入の効果が表れています。今後ともシステムを活用した窓口運用の改善に努めます。

令和５年度 福祉保健部長「政策宣言」達成状況

福祉保健部長 小見 光子

○ 令和５年度重要事業

事業名	５つの福祉・健康計画の策定
目 標	市民ニーズを捉えた、より効果的な福祉施策を展開できるよう「射水市高齢者保健福祉計画・第９期介護保険事業計画」、「第３次障がい者基本計画及び第７期障がい福祉計画・第３期障がい児福祉計画」、「国民健康保険 第３期保健事業実施計画（データヘルス計画）及び第４期特定健康診査等実施計画」を策定します。
年 度 末 達 成 状 況	「射水市高齢者保健福祉計画・第９期介護保険事業計画」、「第３次障がい者基本計画及び第７期障がい福祉計画・第３期障がい児福祉計画」、「国民健康保険 第３期保健事業実施計画（データヘルス計画）及び第４期特定健康診査等実施計画」を策定しました。
自 己 評 価	それぞれの計画に基づき、市民の福祉の向上、地域共生社会の実現のため、各福祉施策の実施に努めてまいります。

事業名	子育て支援の推進
目 標	産後の心身の負担軽減や孤立を防ぐため、保健師や助産師等の専門スタッフによる相談や産婦同士のつながりを作る場を提供する産後サポート事業「いみずっ子B a b yの会」を新たに実施します。 また、物価高騰の長期化を踏まえ、保育園等の副食費の補助を継続するとともに、必要な経済的支援について適切かつ迅速に取り組めます。
年 度 末 達 成 状 況	産後サポート事業「いみずっ子B a b yの会」を延べ１２回、親子１１４組の参加で開催し、０～３か月児の子育て中の母親の心身の安定を図り、孤立防止に取り組めました。 保育園等において、食材料費の値上がり相当分を施設に対し補助することで栄養バランスのとれた質の高い給食を提供することができました。また、昨年６月には光熱費や燃料代の高騰に直面する民間事業者に対し、その高騰分を補助するために必要な予算措置を行い、保育サービスの安定的な提供を支援しました。
自 己 評 価	引き続き、産後の母親に寄り添いながら不安軽減を図り、子育て支援を推進してまいります。 また、今後においても、物価高騰の状況を踏まえ、必要な経済的支援に取り組んでまいります。

事業名	全ての世代の健康増進と健康寿命の延伸
目標	糖尿病をはじめとする生活習慣病の発症及び重症化予防等の保健事業に積極的に取り組み、健康寿命の延伸に努めます。 また、働き盛り世代を中心に、自分の健康状態をモニタリングできる「健康アプリとウェアラブル端末を活用した健康管理」を実施し、健康増進を図ります。
年度末達成状況	生活習慣病の発症及び重症化予防のため、各種相談、教室、家庭訪問により、生活習慣改善指導を行いました。 健康アプリとウェアラブル端末を活用した「ヘルスアップ+事業」については、個人の取組とともに参加者全体でのコンテストの実施の効果もあり、歩数は9割以上が参加前より大幅に増加しました。睡眠時間、野菜摂取量も増加し、行動変容につながりました。
自己評価	引き続き、生活習慣病の発症及び重症化予防に取り組み、健康状態の改善、維持・向上に努めてまいります。 健康アプリを活用した健康管理については、「継続性」が高まる仕掛けづくりを検討し、成果につなげてまいります。

令和5年度 産業経済部長「政策宣言」達成状況

産業経済部長 塩谷 明永

○ 令和5年度重要事業

事業名	中小企業等への支援の実施
目標	原油価格・物価高騰により、多大な影響を受けている中小企業や個人事業者及び市民の方に対し、的確な支援を実施することにより、地域経済の活性化を図ります。
年度末達成状況	燃料・原材料価格の上昇による物価高騰の影響が、市民生活及び事業者の経営を圧迫していたことから、市商工協議会が実施する物価高騰対策のための生活支援・消費喚起事業に支援することで、地域経済の活性化に取り組みました。
自己評価	市内経済団体と連携して取り組むことにより、実効性のある生活支援及び物価高騰対策に取り組むことができました。今後は、能登半島地震の影響を受けた事業者も含め、引き続き、中小企業の支援に取り組みます。

事業名	観光の振興と移住定住の促進
目標	道の駅周辺エリアへ宿泊施設を誘致するほか、多様な観光資源を磨き上げ「稼げる観光」の実現に取り組みます。併せて、本市での暮らしの魅力発信や移住体験機会の提供を行うなど、移住希望者に選ばれるまちを目指します。
年度末達成状況	道の駅周辺エリアに宿泊施設を誘致したほか、道の駅新湊等のリニューアルに向け、優先交渉権者を選定しました。 また、「稼げる観光」の実現に向け、内川ナイトクルーズと獅子舞鑑賞を組み合わせた観光商品化に取り組みました。 移住や空き家に関する情報発信や様々な相談等をワンストップで行う移住・空き家トータルサポート業務の実施に向け、民間事業者の公募に向けた条件を整理しました。
自己評価	観光の振興、移住定住の促進ともに、目標の達成に向け着実に前進することができました。引き続き、官民が連携し観光客・移住希望者に選ばれるよう取り組みます。

事業名	農林水産業の推進
目標	地域農業の将来ビジョンとなる「地域計画」策定についての取組や、アグリテックバレー構想に基づく農業の成長産業化実現に向けた取組を推進するとともに、水産業における資源管理型漁業の支援を行う等、いみずのブランド力向上と持続可能な農林水産業の推進に努めます。
年度末達成状況	農業では、地域計画を策定するための協議の場を設置し、14地区ある内の5地区について協議を行いました。また、アグリテックバレー構想に基づき、食香バラやサツマイモの産地化に係る生産技術の研究や市場開拓等の取組について支援しました。 水産業では、シロエビを対象魚種とする水産エコラベル漁業認証の審査を受けた結果、認証内定を受けることができました。
自己評価	農業では、地域計画の策定について関係者が一体となって協議を開始し、各地域の農地利用の目指すべき将来ビジョンを明確にする足掛かりができました。 また水産業では、射水市地域水産業再生委員会の取組が認められ、浜の活力再生プラン優良事例表彰において、水産庁長官賞を受賞するなど、着実に地域のブランド力の向上が進んでいます。 引き続き、農林水産業が抱える課題解決に努め、経営の安定化など、持続可能な農林水産業の推進に努めます。

令和５年度 都市整備部長「政策宣言」達成状況

都市整備部長 小川 昌男

○ 令和５年度重要事業

事業名	安全・安心な道路整備
目 標	暮らしに密着した道路や、地域連絡道路及び公共施設等へのアクセス道路の整備を行い、利便性の高い道路網の構築を図ります。 また、射水市橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁の定期点検や修繕及び、幹線道路の舗装補修を推進し、誰もが安全で快適に通行することができる道路交通の確保に努めます。
年 度 末 達 成 状 況	市道朴木赤井線、大門針原線、三ヶ３４号線の道路改良工事、山王橋、無名橋の長寿命化修繕工事及び市道大門本江大白線、市道布目沢藤巻線の舗装補修工事を実施しました。
自 己 評 価	計画どおり事業を進めることができました。引き続き、道路改良工事、橋梁長寿命化修繕工事、舗装補修工事に取り組み、利便性向上や安全で快適な道路交通の確保に努めます。

事業名	木造住宅の耐震化と市営住宅の長寿命化
目 標	災害に強いまちづくりを推進するため、引き続き木造住宅の耐震化を促進します。 また、市営住宅については、長期にわたり住み続けられる環境を整えるため、「射水市公営住宅等長寿命化計画」による適正管理を進めます。
年 度 末 達 成 状 況	今年度は、耐震改修５件、老朽危険空き家等５件について補助を実施しました。なお、能登半島地震において、危険な状態（傾き、ひび割れ等）となり、余震等でさらなる倒壊のおそれのある残存ブロック塀等を撤去する支援制度を創設しました。 また、市営住宅については、港町市営住宅、殿村市営住宅２号棟、赤井市営住宅において長寿命化に向けた改修工事を実施しました。
自 己 評 価	能登半島地震を受け、安全で快適な住環境を整えるため、引き続き、木造住宅の耐震化や老朽空き家の解消につながる制度の充実を図ってまいります。 また、市営住宅については、引き続き、適正な維持管理に努めるとともに、計画に基づき、長寿命化を進めてまいります。

事業名	賑わいと生活環境の充実
目 標	地域の賑わい創出や健康づくり、レクリエーション等、多様な機能を有する公園について、計画的な施設の更新や補修等により、利便性の向上を図り、安全でくつろぎ憩える環境づくりを推進します。 また、長期的な視点から、緑地の保全や緑化の推進を図るため、「緑の基本計画」を策定します。
年度末 達成状況	公園施設の計画的な更新により、遊具や園路の他、足洗潟公園の北側のトイレ更新工事を実施しました。 また、本市の緑に関するマスタープランである「緑の基本計画」を策定しました。
自己評価	計画どおり事業を進めることが出来ました。今後とも賑わいと生活環境の充実を図るため、引き続き公園施設更新の事業推進に努めてまいります。 また「緑の基本計画」の理念「まちをつなぎ いろどり育み 魅力ひろがる 緑いっぱい射水」に基づき、将来にわたり持続的に緑を守り育ててまいります。

令和５年度 上下水道部長「政策宣言」達成状況

上下水道部長 南 和彦

○ 令和５年度重要事業

事業名	水道施設整備事業
目標	水道管路を積極的に更新するとともに主要施設の設備更新を実施し、安定給水と耐震化の推進に取り組み、水道施設の強靱化を図ります。
年度末達成状況	配水管更新事業では、善光寺地内の西部幹線更新事業に着手するなど計画に基づく事業の推進とともに効果的な事業の進捗に努めました。 施設整備事業では、上野調整場及び日の宮受水場無停電電源装置更新などの設備更新を実施しました。
自己評価	水道施設の設備更新は、概ね計画どおり進捗しています。また、水道管路については、引き続き積極的に更新し、安定給水と耐震化の推進に努めます。

事業名	雨水対策事業
目標	近年の激甚化・頻発化する豪雨による浸水被害の軽減を図るため、枇杷首、作道、小島及び堀岡地内の雨水対策事業を推進し、雨水対策施設の早期整備に努めます。
年度末達成状況	枇杷首地内については、主要な施設が完成し、今後の浸水被害は軽減されることとなります。作道地内については、貯留施設の基礎部分の施工中であり、小島地内については、関係機関との協議を終え、来年度以降、工事着手を予定しております。また、堀岡地内については今後用地買収に向け、用地測量や詳細設計を発注することとしています。
自己評価	震災では雨水対策施設の被害は軽微であったことから、概ね計画どおり進捗しています。引き続き、雨水対策整備も含め、被害の大きかった下水道施設の早期復旧・復興に努めます。

事業名	持続可能な事業運営
目標	「水道ビジョン」「下水道ビジョン」に掲げた経営目標の実現に向け、水道事業の第２期包括業務委託や上下水道料金システムの更新に着手し、事業の効率化を進め、将来にわたり持続可能な事業運営基盤の確立に努めます。
年度末達成状況	包括業務委託選考委員会の審査結果を踏まえ、第２期の受託事業者と契約し、上下水道料金システムにおいては更新とともにクラウドサービスへ移行しました。
自己評価	令和６年度からの第２期包括業務委託と新たな上下水道料金システム稼働に向けて確実に業務を進めてきました。引き続き、安定したサービス提供と業務効率化の実現に努めます。

令和５年度 会計管理者「政策宣言」達成状況

会計管理者 渡邊 昇信

○ 令和５年度重要事業

事業名	公金の安全でより効率的な管理・運用
目標	公金の安全性確保を第一に、確実かつ有利な資金管理・運用に努め、公金の効率的な管理・運用を図ります。
年度末達成状況	市税、地方交付税等の収入状況、工事請負費等の支払見込及び前年度の収支実績等を参考に正確な収支見通しの把握に努めました。 また、公金の管理・運用については、安全でかつ有利な定期預金等での運用のほか、基金の一部を活用し債券運用を行い、利子収入を確保しました。
自己評価	公金の安全かつ有利な運用に努め、一定の利子確保を図ることができました。

事業名	公金取扱状況検査の実施
目標	各課・出先機関等の公金取扱状況検査を実施し、適正な会計事務が行われるよう指導するとともに、公金の取扱いに対する職員の意識向上を図ります。
年度末達成状況	２月末までに、予定していた１４か所（金融機関２か所を含む。）すべての現地調査を実施し、適正な執行の確認と事務の指導を行いました。
自己評価	各課、出先機関において、公金取扱業務の適正な執行を確認しました。

事業名	適正な会計事務の執行
目標	法令や会計規則等に基づき、厳正かつ迅速な出納審査を行い、公金の適正で確実な支払事務の執行に努めます。
年度末達成状況	会計事務担当職員に対し、適切な会計処理と事務の効率化を図るための指導を目的とした研修を５月に実施しました。
自己評価	研修会の実施等を通じて、適切な会計処理の周知を行いました。また、適正で確実な支払事務の執行に努めました。

令和５年度 教育委員会事務局長「政策宣言」達成状況

教育委員会事務局長 久々江 豊

○ 令和５年度重要事業

事業名	教育振興基本計画の策定とコミュニティ・スクールの導入
目 標	令和５年度を初年度とする第３次射水市総合計画が策定されたことや昨今の教育を取り巻く状況の大きな変化を受け、令和６年度までを計画期間としている射水市教育振興基本計画を見直し、新たな計画を策定します。 また、地域と保護者、学校が一体となって子ども達を育む「地域とともにある学校づくり」を目指し、コミュニティ・スクールの導入に向けた準備を進めます。
年 度 末 達 成 状 況	第２期教育振興基本計画については、計画策定懇話会を４回開催し、策定しました。 コミュニティ・スクールについては、学校、保護者、地域の共通理解を図るための取組を行い、令和６年度から全小・中学校での学校運営協議会の設置、学校と地域をつなぐコーディネーターを配置する体制づくりに努めました。
自 己 評 価	計画策定懇話会委員の意見を反映し、教育を取り巻く環境の変化を踏まえた第２期教育振興基本計画に基づき、学校教育、生涯学習、スポーツ等に関する様々な施策の展開に努めます。 また、コミュニティ・スクールについては、来年度からは当初目標を上回る全小・中学校で実施する体制を整えたところであり、地域の実情に応じたより良い組織となるよう取組を進めます。

事業名	持続可能な部活動、学校の働き方改革の推進
目 標	休日の部活動の地域移行については、運動部活動における実証事業により見えてきた課題を整理しながら実施競技を拡充するとともに、文化部活動についても関係団体と協議を進め、全部活動の地域移行に向けた取組を段階的に進めます。併せて教員の部活動従事に伴う多忙化の解消、学校の働き方改革の推進に努めます。
年 度 末 達 成 状 況	休日の部活動の地域移行については、運動部において今年度新たに３競技を地域移行し、昨年度移行した競技も含め、練習場所の確保や指導者と保護者の連絡手段について方策を検討しました。文化部についてもどのように移行を進めていくか話し合いを行い、実施に向けての協議を行いました。
自 己 評 価	運動部については、新たに３競技を地域移行しており、未実施の競技についても引き続き協議を進めるとともに、文化部についても地域移行に向け関係団体と協議を進めます。加えて教員の部活動従事に伴う多忙化の解消、学校の働き方改革の推進に取り組みます。

事業名	市民のスポーツ活動の推進と文化財の保存活用
目 標	現行のスポーツ推進計画が今年度までの計画期間となっていることから、スポーツ環境の変化や課題に的確に対応し、市民の皆さんがライフスタイルに応じてスポーツ活動に参画できるよう、令和6年度を初年度とする新たな計画を策定します。 文化財については、国重要無形民俗文化財である放生津八幡宮祭曳山・築山行事の保存活用計画の作成に努めるとともに、県事業に伴う埋蔵文化財の大規模発掘調査を進め埋蔵文化財の保護に努めます。また、市埋蔵文化財センターを活用した出土品公開や体験教室をとおして、埋蔵文化財の普及啓発に努めます。
年 度 末 達 成 状 況	第2次スポーツ推進計画については、スポーツ推進審議会を3回開催し、策定しました。 放生津八幡宮祭曳山・築山行事の保存活用計画の素案作成や埋蔵文化財の大規模発掘調査・体験教室等を実施しました。
自 己 評 価	市民、競技団体の意見やスポーツ推進審議会委員の提言を踏まえた第2次スポーツ推進計画に基づき、市民の皆さんがライフスタイルに応じて、スポーツ活動に参画できるよう施策の展開に努めます。 また、文化財保護団体への支援や国の補助事業を活用した、文化財の保存継承や埋蔵文化財の保護・普及啓発を図り、今後も文化財の保存継承への支援や保護意識の高揚に努めます。

令和５年度 消防長「政策宣言」達成状況

消防長 竹内 秀樹

○ 令和５年度重要事業

事業名	防火安全対策の強化
目 標	住宅火災による死傷者を減らすため、住宅用火災警報器の設置及び適切な維持管理の推進を目指し市民への周知に努めます。 また、幼年・少年消防クラブを通じて子供たちへの防火教育を行うとともに、引き続き高齢者を対象とした防火指導を行います。
年 度 末 達 成 状 況	今年度、住宅火災による死傷者を減らすため、1,926軒の住宅を訪問し、防火の指導や、住宅火災警報器の設置・維持のPRに努めました。 また、子供たちへの防火教育も、避難訓練や各種イベントを通じて行いました。先生方のご指導もあり、熱心に「火の用心」を学んでいただきました。
自 己 評 価	残念ながら、2月に火災による死者が1名発生しました。令和2年以降火災による死者は出ていなかったため、非常に残念であります。今後も引き続き住宅防火診断を計画的に実施し、火災による死者ゼロを目標に、職員一丸となって取り組みます。

事業名	消防活動力の強化
目 標	火災による延焼防止を目標に放水開始時間の迅速化を図り、消防団とも連携を強化した消火戦術により、効率的な消火活動を目指します。 また、救急需要の増加に伴い管轄区域以外への出動により救急車の現場到着時間が延びていることから、適正利用のPRや5台の救急車の効率的な運用を行い現場到着時間の短縮に努めます。
年 度 末 達 成 状 況	消防団の方々の消火技術を競う操法大会を実施したこと、また、ポンプ車の取り扱い講習を行ったことで、団員の方々の習熟度が向上しました。また、火災予防運動期間中の訓練において中継訓練を行ったことで連携が強化されました。 救急車の現場到着時間の短縮については、救急出動件数が前年同期比160件増ですが、出動指令の迅速化や出動準備の改善で約1分間短縮されました。
自 己 評 価	昨年の12月に、1日に2件の住宅火災が発生しました。火災注意報発令中の強風の吹く中、懸命の消火活動により、隣家への延焼は免れました。これらは、日頃の訓練により、消防団の方々との連携協力が功を奏したものだと思っています。

事業名	消防力の維持・強化
目標	立地的に不都合のあった分団屯所を老朽化による建て替えと同時に移転をすることで機動力を高めます。また老朽化した消防ポンプ自動車を更新し、消防力の維持に努めます。 引き続き消防団員の加入促進及び消防団員の装備更新を行い、安全性を向上させ消防団活動の強化につなげます。
年度末達成状況	7月に二口分団、12月に新湊分団それぞれの屯所が完成し、団員の方々が活動しやすい環境となりました。しかしながら、消防ポンプ自動車の更新については、自動車メーカーからのシャーシ（車台）の供給が遅れていることから未だに納入の目途が立っていない状況です。 消防団員の装備更新については、火災の際に着用する防火衣や防火帽を更新し、安全性が高まりました。 消防団員の加入促進については、新たに20名の方々に入団していただきました。地域の安全・安心を確保する重要な役割を担う方々が引き続き入団していただけるよう、PRに努めます。
自己評価	令和6年能登半島地震により、多くの被害が市内でも発生しました。消防団の方々には発災直後から活動していただきました。その活動拠点となる分団屯所を今後もより良い環境となるよう努めます。 また、災害活動に際し、安全管理が徹底されるよう職員、団員の装備の整備だけでなく講習を実施します。

令和５年度 市民病院事務局長「政策宣言」達成状況

市民病院事務局長 宮本 康博

○ 令和５年度重要事業

事業名	健全経営に向けた経営の強化
目 標	地域の中核病院として、市民から信頼され、必要とされる病院となるよう、救急医療や急性期医療体制を堅持するとともに、地域包括ケア病棟において在宅療養患者等の受け入れや在宅復帰に向けた支援を行うなど、急性期から回復期まで高度で幅広い医療を継続的に提供できるよう、経営の効率化を図り健全な病院運営に努めます。
年 度 末 達 成 状 況	積極的な救急搬送患者の受け入れや、地域連携による地域包括ケア病棟の有効活用に取り組んだことで一定程度の収益は確保できましたが、物価高騰による維持管理費の増加等により収支は悪化しました。
自 己 評 価	引き続き患者確保に努めるとともに、令和６年度に実施される診療報酬改定に沿った効率的な収益の確保を図ることで経営改善に取り組みます。

事業名	公立病院経営強化プランの策定
目 標	医師不足や医療需要の変化等により厳しい経営状況に直面している中、地域が必要とする持続可能な医療提供体制を確保するため、経営強化に係る取組を示した公立病院経営強化プランを策定します。
年 度 末 達 成 状 況	病院運営協議会及び経営改善委員会での協議を重ねるとともにパブリックコメントを実施し、令和６年度から９年度までを計画期間とした「射水市民病院経営強化プラン」を策定しました。
自 己 評 価	策定した「射水市民病院経営強化プラン」に沿って経営改善に係る取組を推進し、計画期間内での経常黒字を目指します。

事業名	病院機能評価認定の更新
目 標	患者サービスの向上や診療体制の充実、医療の質と安全の向上を図るため、日本医療機能評価機構が認定する「病院機能評価」の更新に向けて取り組みます。
年 度 末 達 成 状 況	令和６年２月に全８８項目に亘って医療の質向上に向けた病院機能評価本審査を受審し、結果については４月に示される予定です。
自 己 評 価	当院の多くの取組について、講評において高い評価をいただきました。引き続き、安全・安心で質の高い医療の提供に努めてまいります。